

本能寺の変の謎は 丹波篠山にあり

明智光秀の母
お牧

織田信長の重臣
明智光秀

丹波篠山の戦国武将
波多野秀治

2020年NHK大河ドラマ「麒麟がくる」放映決定

丹波篠山市NHK大河ドラマ推進委員会 丹波篠山市農都創造部商工観光課 TEL:079-552-6907 <https://kirin-tambasasayama.jp/>



謎多き、本能寺の爰。 なぜ明智光秀は織田信長を討ったの その謎を解く鍵は、 丹波篠山で起きたドラマにあった。

01 明智光秀と優しき母

織田信長に重臣として仕え、大活躍してきた明智光秀は、幼いころに父を亡くし、母のお牧に育てられた。お牧は、息子に武士としての心構えを諭す厳しさもあったが、心優しい母であった。そんな優しきお牧は丹波篠山で悲しい最期を迎えたとされる。そして、お牧の死が本能寺の変を引き起こしたかもしれない。



謎

お牧は本当に実在したのか？

明智光秀の母として考えられているお牧。史料ではお牧についての情報がほとんど残っていません。岐阜県恵那市明智町にはお牧の墓が建てられており、そこには光秀の丹波攻略の際に非業の死を遂げたお牧の最期が記載されています。しかし、お牧がどんな人物だったのかは謎のままです。

02 明智光秀、丹波へ侵攻

1575年、天下統一をめざす信長は光秀を大将とし、丹波に攻め込ませた。丹波の赤鬼と恐れられた赤井直正が黒井城で光秀を迎え撃ち、戦いは始まる。当初は圧倒的戦闘力によって光秀が有利に戦いを運び、すぐに勝負はつくとされた。しかし、そこで光秀側で戦っていた波多野秀治が、なんと直正側に寝返り、戦況がガラッと変わってしまう。光秀ははさみ撃ちにされ、あわや死ぬ間際まで追い込まれてしまうが、辛くも京都に逃げ込む。1度目の丹波での戦いは、密な策略により直正と秀治が勝利をつかむ。

03 丹波篠山にて、再び戦う

1577年、次こそはとの想いで光秀は丹波に再び攻め込む。丹波篠山では、秀治と八上城で戦いをくりひろげた。光秀は八上城を兵糧攻めし、相手が降伏してくるのを待った。しかし、秀治は粘り強く戦い、地の利を活かした奇襲を仕掛けるなど光秀に果敢に抵抗する。一方、光秀も八上城内に兵糧を運び込む僧を斬殺するなど凄まじい死闘をくりひろげ、光秀と秀治のにらみ合いは続いた。



波多野秀治

丹波篠山

八上城

か？



04 決着をつけるための覚悟

戦いが長引き、光秀はまた勝てないのではないかと焦り始める。そこで、光秀は秀治に人質の差し出しと命の保障を引き換えに降伏するよう申し出ることを考える。そして、自らの母であるお牧を人質として差し出すことを決意する。息子想いの優しき母は、光秀の覚悟をくみとり、これに応じる。しかし、これが本能寺の変へとつながる悲劇の始まりだった。

お牧

05 お牧の悲しき最期

戦いから1年半もの月日が流れ、食べ物が尽き、亡くなる家来も多く出る中、秀治も申し出に応じ降伏する決意を固める。そして、信長のもとに参った秀治であったが、信長は命の保障の約束を破り秀治を処刑する。これを聞いた秀治の家臣らは激怒し、人質であったお牧を高城山の松の木にはりつけにし、処刑してしまう。その光景は、目をふさぎたくなるような無残な最期であった。母を失った悲しみに暮れる光秀は約束をやぶった信長に対し、怨念を抱く。

天下統一

06 そして、本能寺の変へ

その3年後の1582年6月2日、光秀は本能寺の変を起こし、信長を討つ。その日は、奇しくも光秀の母の命日であった。その後、光秀は山崎の戦いにて豊臣秀吉に敗北し、命を落とす。11日間の短い天下であった。

本能寺の変

謎

お牧は本当にはりつけ処刑にされたのか？

はりつけ処刑にされたとの伝承は、江戸時代に遠山信春によって書かれた軍記物『総見記(そうけんき)』に記されています。大河ドラマ『秀吉』のワンシーンに登場していますが、史実かどうかはわかっておらず、伝承として言い伝えられています。果たしてお牧は本当にはりつけにされたのか、謎のままです。

お牧を処刑された恨みが本能寺の変につながったのか？

明智光秀が本能寺の変を起こした動機はいくつかの説があります。織田信長への恨みからの怨念説、自分で天下統一を成し遂げたいという野望説、精神的に追い詰められたノイローゼ説等が考えられています。お牧のはりつけ処刑による信長への恨みも1つの説として考えられていますが、真実は謎のままです。

謎

信長の裏切りにより、母を失った光秀。

はらわたが煮えかえるようなその怨念こそが、本能寺の変の裏切りを起こしたのではとされている。

丹波篠山で起きた、明智光秀の母をめぐる悲しき物語。

(諸説あり)

ゆかりのある 登場人物



明智光秀 AKECHI MITSUhide

織田信長の重臣として数多くの戦果を上げた戦国武将。
本能寺の変にて信長を討ったことは歴史上でもかなり有名。信長に謀反した動機はいまだに謎のまま。
歴史的には裏切り者としてうたわれることもある一方、領地の内政に優れ、領民から慕われていたといわれる。愛妻家としても有名。
山崎の戦いにて豊臣秀吉に敗れ、わずか11日の天下でこの世を去る。

お牧 (明智牧) AKECHI MAKI

明智光秀の母親。
名前は牧、於牧の方の説もあり。
生没年が不明なほど、詳しいことが知られていない謎多き女性。
息子の光秀の丹波攻めのときに人質として八上城近くで松の木にはりつけにされ、処刑された伝説が有名。
光秀に武士の心構えを論ずる厳しい面もあったが、心優しき母でもあったようである。
大河ドラマでは演歌歌手の石川さゆりが演じることが決定。どのようなストーリーの中で登場するか注目である。

明智VS波多野に まつわる悲話・逸話

お牧の処刑という悲劇を生んだ明智光秀と波多野秀治の戦い。
しかし、悲話や逸話はそれだけではありません。

猛火に焼かれる四十九院

兵糧攻めに苦しむ波多野陣を助けるために、四十九院の僧らがこっそり城内に食糧を運び込んでいた。しかし、明智光秀らに見つかり、四十九院に火を放たれ、寺々は焼き尽くされてしまった。そして、僧らは首をはねられ斬殺された。



天正の首塚(曾地中)。僧らの無念を祀っている塚。

身投げの娘の悲しみによる呪い？

八上城近くの池に、波多野秀治の娘・朝路姫が、八上城落城の際に悲しみのあまり身を投げたという伝説がある。女性が池をのぞき込み、水面に浮かぶ自分の顔が美人に見えれば、近いうちに死を迎えるという怪談めいた話も伝わっている。



朝路池。八上城がたつ高城山に今も残っている。

波多野秀治

HATANO HIDEHARU

丹波篠山の戦国大名。八上城当主。

信長の命令によって丹波攻めを仕掛けてきた光秀と戦う。

難攻不落の地に立つ八上城にて籠城しながら、土地の利を活かした奇襲にて立ち向かうが、死闘の末敗れ、信長により処刑される。

辞世の句「よわりける 心の闇に 迷はねば いで物見せん 後の世にこそ」には、秀治の悔しさが伝わってくる。

地元商人が光秀の厳重な包囲網を掻い潜りひそかに城中へ食糧を届けるなど、地元商人から慕われていたとされる。

赤井直正

AKAI NAOMASA

丹波国で勢力を誇った武将。戦いでの勇猛ぶりから「丹波の赤鬼」と恐れられた。

外叔父を殺害し黒井城を奪うなど、通称「悪右衛門」とも呼ばれる。

黒井城での丹波攻めのときには、当初は苦しい戦況であったが、秀治との連携により巻き返し、光秀を敗走に追い込む。

しかし、2度目の丹波攻めの際中に病没する。実質的指導者であった直正を失ったことにより、戦力が減少した赤井軍は光秀に攻め込まれ、敗北する。

難攻不落の波多野陣

山頂に立つ八上城を中心に尾根伝いに多くの曲輪が築かれ、鉄壁の防御態勢であった。丹波攻めで明智光秀、羽柴秀長らに11回もの攻撃を受けたが、すべて防いた。兵糧攻めの末に落城したが、名武将ですら攻め落とすのに苦労した陣営であった。



高城山。八上城がたつ秀峰。

城主を想い、ともに自害

八上城落城の際に、侍女や子どもたちは、明智光秀の厳重な囲みを破り、落ちのびようとする。しかし、1人の侍女が燃えあがる八上城に振り向き、城主の波多野秀治を想い、おめおめと生きることはできまいとその場で自害してしまう。



乙女塚(野中)。城主の想いの侍女らを祀っている。

丹波篠山の山城



波多野陣の山城

⑥飛の山城(西岡屋)、⑦八百里城(奥畑)、⑧沢田城(沢田)、⑨佐畿山城(大沢)、⑩盃山城(東浜谷)、⑪安口城(安口)、⑫板井城(上板井)、⑬栗柄城(栗柄)、⑭幡路城(幡路)、⑮吹城(東吹)、⑯朽梨城(朽梨)、⑰宮田城(東木ノ部)、⑱岩崎城(岩崎)、⑲白藤城(藤坂)、⑳谷山城(谷山)、㉑淀山城(辻)、㉒南村城(味間南)、㉓南山城(辻)、㉔北村城(味間北)、㉕東山城(辻)、㉖西山城(網掛)、㉗畑市城(辻)、㉘大山城(北野)、㉙森本城(福井)、㉚矢代城(矢代)、㉛豊林寺城(福井)、㉜波賀野城(波賀野)、㉝高仙寺城(見内)、㉞三尾城(小坂)、㉟栗栖野城(栗栖野)、㊱中村堡(中)、㊲大沢城(大沢)、㊳油井城(油井)、㊴真南条城(真南条)、㊵草山城(本郷)



明智陣の山城

㊶網掛城(網掛)、㊷勝山堡(和田)、㊸藤坂城(藤坂)



① 篠山城(北新町)

藤堂高虎が建立に関わった、近世城郭の平城。全体が要塞化されており、攻めにくく守りやすい体制であった。



② 八上城(八上上)

室町時代から戦国時代にかけて、丹波篠山が誇る戦国武将、波多野氏が本拠地とした山城。織田信長の丹波攻めにより、明智光秀に攻められ落城した。



③ 初井城(福住)

波多野秀治とともに明智光秀と戦った初井綱利の山城。黒井城の赤井直正が「丹波の赤鬼」と呼ばれたのに対して、初井綱利は「丹波の青鬼」と恐れられた。



④ 細工所城(細工所)

明智光秀を何度も撃退するほどの武将、荒木氏綱によって築かれた山城。その強さに惹かれた光秀が氏綱に家臣に誘ったが、病身を理由に断られたという。



⑤ 般若寺城(般若寺)

明智光秀が八上城を包囲するために篠山川を隔てた山に築いた山城。降伏した城主の波多野秀治と対面した場所でもある。

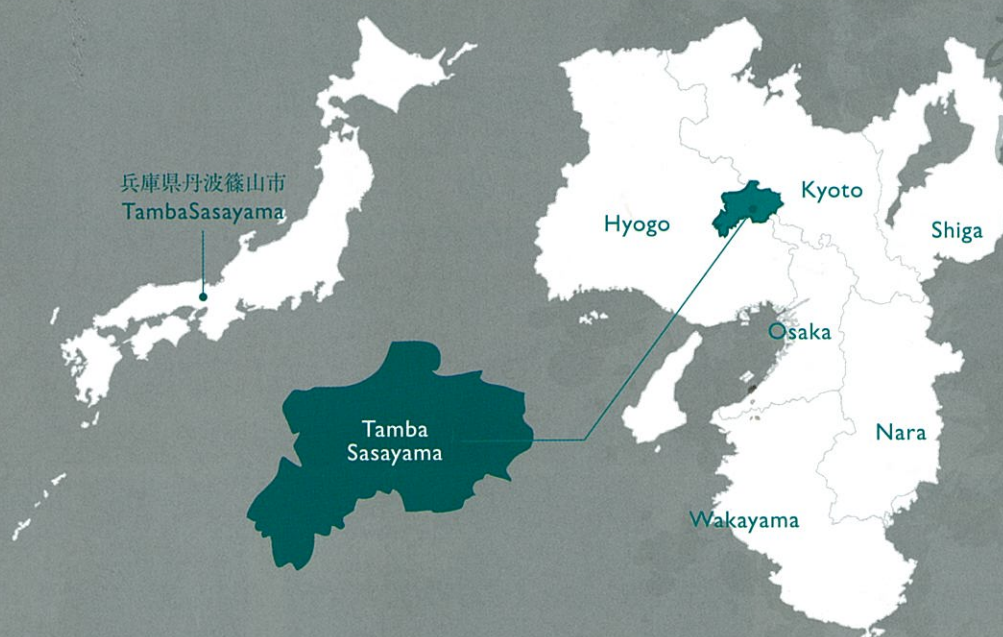


⑥ 金山城(追入)

明智光秀が築いた山城。波多野秀治と連携していた赤井軍がある黒井城からの戦いを絶つために、隣の丹波市を見渡せる金山に築いたとされる。

本能寺の変の謎は 丹波篠山にあり

丹波篠山市は豊かな自然と歴史的建造物が数多く残り、京文化の色を残す町並みやお祭りを愉しむことができます。黒大豆、山の芋、丹波栗、松茸、茶、猪肉などの味覚も豊富で、阪神から約1時間で行ける田舎町として魅力があふれています。



<https://kirin-tambasasayama.jp/>

2020年NHK大河ドラマ「麒麟がくる」放映決定

丹波篠山市NHK大河ドラマ推進委員会 丹波篠山市農都創造部商工観光課 TEL:079-552-6907